

# 萩焼

落ち着いた風情の漂う  
萩の町に育った伝統の「萩焼」  
その奥深い味わいは、  
贈る方の心を語ります。



製作企画

## 萩陶苑

椿秀薫

<http://www.hagiyaki.co.jp/>

◆2017年6月発行

※このカタログの表示価格は税抜本体価格となっております。別途消費税がかかります。  
※商品はひとつひとつ手作業で仕上げていますため、同じ商品でも、色合い、形状、サイズ、重さ、容量が多少異なる場合がございます。  
※やむを得ず、商品の変更、廃番、価格変更を行う場合がございますので、予めご了承ください。  
※商品コード横の「\*」は、本カタログより商品名または価格に変更がある商品です。

## 伝統の器、萩焼

萩焼の歴史は、慶長年間に韓国より渡来した陶工李勺光、李敬兄弟が毛利藩の御用窯として開窯し、高麗風の茶陶を製作したことに始まります。古来より茶人の中で「一茶、二萩、三唐津」と賞され、数ある茶陶の中でも深く愛されてきました。

以来今日まで、この伝統は400年以上の歴史とともに受け継がれ、育まれています。

萩焼の特徴は、焼きあがりの土の柔らかさとその吸水性にあります。高火度で比較的短時間で焼成し、土味を残すため、商品の感触が柔らかく、土があまり焼ききっていないので保温性を持っています。さらに吸水性があるため長年大切に使い込むことによって、「茶馴れ」や「萩の七化け」と呼ばれる、色合いや景色の変化も楽しむことができます。

萩焼は、形・装飾に素朴さがあり、絵付けはほとんど無く、土の配合・釉薬の組み合わせや、へらや刷毛目により器に表情をつけているのも特徴のひとつです。

土の配合・釉薬の組み合わせで、たくさんの色を生み出すことができる萩焼の魅力を伝えるため、私たち萩陶苑は、伝統的な萩の色合いから、ガラス釉薬を使用したものや、淡い色合いのものなど多彩な色合いの商品を製造しています。このカタログには伝統的な作品のほか独自の技法と現代のニーズを調和させた新デザインの萩焼も掲載しております。どうぞ、ご覧ください。



## 「育てる」ように使う

使い込むほどに変化する微妙な色の移ろいは共に歩んできた証です。

長年茶の湯の世界で珍重されてきた萩焼。時を経るごとに釉薬の細かいひびにお茶が染み込み、色を変えていく「萩の七化け」は長く愛することの喜びや大切さを教えてくれます。

## Contents

01	ごあいさつ	15	皿
02	窯元・作家紹介	16	飯茶碗
03	萩の雫	17	酒器・ぐい呑
05	萩のいろどり	19	フリーカップ
06	つぼみ・ハートリズム	20	マグカップ
07	姫萩・萩むらさき	21	珈琲碗皿
08	かいらぎ・御本手	22	湯呑単品
09	組湯呑	23	急須・ポット
11	汲み出し揃・茶器揃	24	抹茶碗
13	鉢	25	花生・壺

萩焼の色合いは、土と釉薬が溶け合って生まれます。そのため、ひとつとして同じ色合いのものはありません。焼成による多少の色合い、寸法の違い・容量の違いはご容赦ください。



## 生活のワンシーンに萩焼を・・・

萩陶苑 椿秀窯

萩陶苑・椿秀窯では、「生活のワンシーンに萩焼を・・・」というコンセプトのもと、伝統的な萩焼からデザイン性豊かな生活食器としての萩焼まで、お客様のライフスタイルやニーズに寄り添うモノづくりを目指しています。

萩焼の人気の秘密は、何といても素朴で柔らかな風合い。その優しい色合いや風合いを大事にしつつも、どこか新しさを感じさせる商品づくりが萩陶苑・椿秀窯の特徴です。

生み出される商品の柔らかく優しい色合いは、これまで蓄積された技術と陶工の知恵の結晶。使う人を思い、日々豊かな彩りを与えてくれる、より美しく、使いやすい萩焼の器を作りたいと願っています。

## その他取り扱い作家紹介

本カタログ内で取り扱っている萩焼作家のご紹介

### ●庄 圭一郎 Keiichiro Sho

1971年生  
山口県宇部市

七代兼田三左衛門に師事。1993年より萩陶苑にて作陶。粉引や御本手、かいらぎなどの萩焼らしい色合いを中心に、表面に技法を凝らしたり、大胆なろくろ目を取り入れたりと、デザイン性豊かな作品を作り続けている。

1994年 山口県美術展 入選  
以後4回入選  
1996年 九州・山口陶磁展  
テレビ山口賞受賞  
1998年 西日本工芸展  
「黒彩雲流花器」入選  
2003年 萩市美術展 教育長賞 受賞

### ●船崎 透 Tohru Funasaki

1964年生  
山口県萩市

1986年 第十二代三輪休雷に師事。  
2002年 第99回九州・山口陶磁展 第2位受賞  
2003年 第53回萩市美展 大賞受賞  
2009年 日本陶芸展 入選  
2011年 萩市文化奨励賞受賞  
2013年 萩の陶芸家たち展 大賞受賞  
自由にならぬ土と、思いを裏切る釉薬を巧みに操り生み出される作品は、どれもモダンで、独創的。

### ●中原 國輔 Kunisuke Nakahara

1948年生

1975年より萩焼を作陶。日用の食器や、壺、花器などを多種で作陶するが、「萩は茶碗」と言い切るほど茶碗に対する思い入れが強い。「作陶は一生の勉強」と研究に余念がない。

### ●山根 清玩 Seigan Yamane

1952年生  
山口県萩市

誰の手も借りず、試行錯誤を繰り返し、失敗を重ねながら得た己の技を蓄積。多彩な色使いが特徴。特にブルーの色を出すことを得意とし、生み出す作品は清玩ブルーと呼ばれ定評がある。

### ●田中 講平 Kouhei Tanaka

1952年生

日本工芸会正会員で、日本伝統工芸士。日本伝統工芸展入選8回、一水会陶芸展入選15回。日本陶芸展入選5回。オリジナルである備目列文様の技法を凝らした作品を得意とする。  
2000年 西日本陶芸展 奨励賞  
2009年 山口伝統工芸展 近鉄松下百貨店賞受賞  
2011年 山口伝統工芸展 朝日新聞社賞受賞

### ●松尾 邑華 Yuuka Matsuo

1951年生

1971年岩尾對山窯にて修行。白磁、日本水墨画を学び、1995年独立し作家活動を始める。以降九州山口陶磁展に10回以上入選し、第105回九州山口陶磁展にて陶業時報社賞を受賞。器を「生活を共に楽しむ家族」と表現し、料理の素材や調理法に合わせた形や色合いを考えて作陶している。

### ●原 佳俊 Kashun Mukuhara

1949年生  
山口県萩市

1967年萩焼に入る。1972年山口県美術展入選、1974年九州・山口陶磁展入選、以後連続入選。1980年以降東京・大阪を中心にギャラリー、百貨店にて個展を開催。伝統的技法を生かすと共に、現代的感覚を加えた、温もりのある作品を目指している。

### ●松尾 優子 Yuko Matsuo

1978年生

高校卒業後、佐賀県有田町へ渡り、焼き物の基礎である種焼技法、上絵・下絵付けを学び、帰萩。有田で学んだ絵付け技法を、萩焼の中に取り入れることにより、伝統を残しつつも今までの個性豊かな作品づくりに努めている。  
2012年 第47回西部伝統工芸展 奨励賞  
2012年 第66回山口県美術展覧会 優秀賞  
2014年 第68回山口県美術展覧会 佳作賞



萩焼とガラスの出会い

# 萩の雫

萩焼の土と、ガラス釉が溶け合い、  
生まれるさまざまな色合い。  
萩焼の土とガラス釉で優しく色づくこの器は、  
ひとつひとつ違った景色や表情を見せます。  
釉薬のたれ、底にたまったガラスが美しい、  
「萩の雫」シリーズです。



14362  
そらフリーカップペア 化粧箱  
本体価格¥3,500+消費税  
カップ:約径8.5×H10.0cm(280ml)×2



52038 \*  
そらロングカップペア 化粧箱  
本体価格¥4,000+消費税  
カップ:約径9.0×H14.0cm(360ml)×2



18192  
そら飯茶碗ペア 化粧箱  
本体価格¥3,500+消費税  
茶碗:約径12.0×H6.5cm×2



52037 \*  
そら丸中鉢ペア 化粧箱  
本体価格¥3,500+消費税  
鉢:約径16.5×H5.0cm×2



53040  
そら小鉢揃 化粧箱  
本体価格¥5,000+消費税  
鉢:約径11.5×12.5×H4.8cm×5



42007  
そら深鉢 化粧箱  
本体価格¥5,000+消費税  
鉢:約径21.5×H8.0cm



見上げるたびに  
違う表情を見せる空。  
無限に広がる空に  
私たちは想いを馳せる。  
同じ土、釉薬から  
生まれる萩焼も、  
この空のように  
無限の色合いの  
可能性を秘めている。

萩の作り手たちの  
たくさんの想いが、  
優しい気持ちが、  
雫となって溢れだす。  
溢れ出たその想いは  
美しい結晶となり、  
キラキラと輝きを放つ。  
そして、ひとつとない  
新しい萩焼が生まれる。



しずく



14352  
しずく・そら カップペア 化粧箱  
本体価格¥3,500+消費税  
カップ:約径8.5×H10.0cm(280ml)×2



14351  
しずく・そら ロングカップペア 化粧箱  
本体価格¥4,000+消費税  
カップ:約径9.0×H14.0cm(360ml)×2



53015  
しずく・そら丸中鉢ペア 化粧箱  
本体価格¥3,500+消費税  
鉢:約径16.5×H5.0cm×2



18194  
しずく・そら飯茶碗ペア 化粧箱  
本体価格¥3,500+消費税  
茶碗:約径12.0×H6.5cm×2



53007  
しずくフリーカップペア 化粧箱  
本体価格¥3,500+消費税  
カップ:約径8.5×H10.0cm(280ml)×2



53008 \*  
しずくロングカップペア 化粧箱  
本体価格¥4,000+消費税  
カップ:約径9.0×H14.0cm(360ml)×2



18193  
しずく飯茶碗ペア 化粧箱  
本体価格¥3,500+消費税  
茶碗:約径12.0×H6.5cm×2



53014  
しずく丸中鉢ペア 化粧箱  
本体価格¥3,500+消費税  
鉢:約径16.5×H5.0cm×2



53010  
しずく珈琲ペア 化粧箱  
本体価格¥5,000+消費税  
碗:約径9.0×H6.5cm(210ml)×2  
皿:約径15.5×H2.5cm×2



43004  
しずく大鉢 化粧箱  
本体価格¥5,000+消費税  
鉢:約径25.5×23.5×H8.0cm

萩の雫とは...

外側の釉薬のたれと内側のガラスだまり  
が印象的な萩陶苑を代表するガラス釉  
の商品。  
色合い、たれ、たまりの厚さなど、試行錯  
誤を重ねたどり着いた美しい逸品です。



器の内側の  
透明感ある  
ガラスだまりがキレイ!



ひとつひとつ個性ある  
器の外側の  
液打つ釉薬のたれが  
おもしろい!



# 萩のいろいろ

お好みの組み合わせを選んで贈るギフト



あの人の好きな色はどんな色？  
 あの人に似合う色はどんな色？  
 そんなことを思い浮かべながら  
 選ぶ贈り物はいかが？  
 贈る人のことを思いながらひとつひとつ選ぶ。  
 それは、あなたが大切な人のために選んだ  
 あなただけのこだわりの贈り物。



わたつみ(WA) 絹雲(KE) 深山(MY) 御本手(GO) 萩むらさき(MU)



つぼみ桜(SR) さざなみ(SN) 姫土(HM) つぼみ露草(TU) 藍(AI)



※10色のカップは、同じ形状でも、土と釉薬の組み合わせによって、若干サイズが異なります。

萩のいろいろ

選べるフリーカップ

萩焼の昔ながらの色合いから  
目新しい色まで。  
土と釉薬の組み合わせで発色する  
色とりどりのカップを  
お好きな組み合わせで送りたい。

14390 萩いろいろペアカップ 化粧箱  
 本体価格¥3,000+消費税  
 カップ: 約径8.0×H11.0cm(240ml)×2

こちらの商品は、10色のカップの中からお好みの  
組み合わせを選んでいただくギフトです。  
下記より、2種類のカップをお選びください。

- ◆わたつみ(WA・14293)
- ◆絹雲(KE・14182)
- ◆深山(MY・14299)
- ◆御本手(GO・14292)
- ◆萩むらさき(MU・14190)
- ◆つぼみ桜(SR・14288)
- ◆さざなみ(SN・14295)
- ◆姫土(HM・14291)
- ◆つぼみ露草(TU・14289)
- ◆藍(AI・14181)



## つぼみ

ほんのり色づく、つぼみのように  
ふんわりと優しい色合い。



14400  
つぼみフリーカップペア 化粧箱  
 本体価格¥3,000+消費税  
 カップ: 約径8.0×H11.0cm(240ml)×2



06823  
つぼみお茶碗ペア 化粧箱  
 本体価格¥3,000+消費税  
 カップ: 約径11.5×H6.0cm×2

## ハート

ハートの形にも  
花びらの形にも見える  
手作業でたわませた変形鉢。



61167  
ハート中鉢ペア 清玩作 化粧箱  
 本体価格¥5,000+消費税  
 鉢: 約13.5×13×H6.5cm×2



61166  
青萩ハート鉢 清玩作 化粧箱  
 本体価格¥3,500+消費税  
 鉢: 約19.5×18.5×H7.5cm



## リズム

はずむ、音。  
はじける、リズム。  
躍動感のある土と釉。



14489  
リズムペアカップ 化粧箱  
 本体価格¥2,500+消費税  
 カップ: 約径8.5×H10.0cm(280ml)×2



18190  
リズム飯茶碗ペア 化粧箱  
 本体価格¥3,000+消費税  
 鉢: 約径12.0×H6.5cm





01901  
 姫土丸組湯呑 化粧箱  
 本体価格¥2,000+消費税  
 湯呑小: 約径7.0×H8.0cm(220ml)  
 湯呑大: 約径8.0×H9.0cm(280ml)



06330  
 姫土茶の間セット(茶こし付) 化粧箱  
 本体価格¥4,000+消費税  
 ポット: 約径10.5×H10.0cm(400ml)  
 碗: 約径8.0×H7.0cm(200ml) × 2



06811  
 姫土丸組茶碗 化粧箱  
 本体価格¥2,500+消費税  
 飯碗小: 約径10.5×H5.5cm  
 飯碗大: 約径12.5×H6.0cm



10311  
 梅皿揃 化粧箱  
 本体価格¥5,000+消費税  
 皿: 約径14.5×H2.0cm × 5



01905  
 萩むらさき組湯呑 化粧箱  
 本体価格¥2,500+消費税  
 湯呑小: 約径7.0×H8.0cm(210ml)  
 湯呑大: 約径8.0×H9.0cm(270ml)



06850  
 萩むらさき組飯碗 化粧箱  
 本体価格¥3,000+消費税  
 飯碗小: 約径12.0×H6.0cm  
 飯碗大: 約径12.5×H6.5cm



16905  
 萩むらさき丸珈琲ペア 化粧箱  
 本体価格¥6,000+消費税  
 碗: 約径8.0×H6.0cm(180ml) × 2  
 皿: 約径13.5×H2.5cm × 2



11224  
 萩むらさき汲み出し揃 木箱  
 本体価格¥3,500+消費税  
 碗: 約径8.0×H5.0cm(130ml) × 5



萩 萩

萩を代表する色合い「萩萩」  
 その素朴で柔らかな色合いは  
 多くの人に愛されています。

萩むらさき

土と釉薬から生まれるむらさき。  
 柔らかくも鮮やかな「萩むらさき」は  
 萩陶苑を代表する萩焼の色合いです。



かいらぎ

ゆきのようにぼつりと厚みのある白。  
 ひとつひとつ偶然が作りなす縮れ模様が器に  
 アクセントを加えます。



14387  
 かいらぎフリーカップペア  
 圭一郎作 化粧箱  
 本体価格¥3,500+消費税  
 カップ: 約径9.0×H12.0cm(320ml) × 2



08463  
 角皿 かいらぎ 圭一郎作 木箱  
 本体価格¥5,000+消費税  
 皿: 約19.5×22.5×H3.5cm



14376  
 かいらぎロックカップペア  
 圭一郎作 化粧箱  
 本体価格¥3,500+消費税  
 カップ: 約径10.0×H7.5cm(300ml) × 2



06920  
 かいらぎ組茶碗  
 圭一郎作 化粧箱  
 本体価格¥6,000+消費税  
 茶碗小: 約径11.8×H7.2cm  
 茶碗大: 約径12.5×H7.5cm



御本手

まるで雪の光のような、  
 柔らかな斑点模様が特徴的な御本手。  
 土の成分や焼き方によって斑点の出方が異なります。



11216  
 御本手小鉢揃 化粧箱  
 本体価格¥4,000+消費税  
 鉢: 約径11.0×H4.5cm × 5



05716  
 御本手ゆり茶器揃(茶こし付) 木箱  
 本体価格¥8,000+消費税  
 急須: 約径10.5×H8.5cm(370ml)  
 碗: 約径8.0×H5.5cm(130ml) × 5



03118  
 御本手平汲み出し揃 木箱  
 本体価格¥4,000+消費税  
 碗: 約径9.0×H6.0cm(180ml) × 5



08306  
 梅菓子器 化粧箱  
 本体価格¥5,000+消費税  
 鉢: 約径22.0×H5.5cm